

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第75号
事故等種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成24年5月4日（金、祝日） 16時30分ごろ
発生場所	兵庫県東播磨港南西方沖 兵庫県加古川市所在の東播磨港別府西防波堤灯台から真方位203° 5.4海里付近 （概位 北緯34° 36.9′ 東経134° 47.3′）
事故等調査の経過	平成24年6月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット プレゼント フロム ホース スリー PRESENT FROM HORSE III、11.06トン
船舶番号、船舶所有者等	271-10279大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	本船 プロペラシャフト及び舵損傷 養殖施設 のり網用のロープ切断
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、東播磨港南西方沖を機帆走により約2～3ノットの速力で西進中、平成24年5月4日16時30分ごろ推進器にのり養殖施設のロープが絡まって運航不能となった。 船長は、海上保安部に通報し、巡視艇が救助に向かったが、約2mの高波で本船に接近できず、翌5日05時10分ごろ船長等の2人は巡視艇の搭載艇により救助され、本船は、巡視艇にえい航されて東播磨港へ入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 6、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期、波高 約2～2.5m 本事故発生時には、播磨南東部に強風及び波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	船長は、本事故発生場所付近の航行経験が10回ほどあり、のり養殖施設の存在を知っていた。 船長は、他の乗組員が荒天により船酔いをしていたので、1人で操船及びセールスのトリム等を行っており、高波のためのにり養殖施設の標識が見えにくかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり

判明した事項の解析	本船は、荒天下の東播磨港南西方沖を機帆走により西進中、船長が、1人で操船及びセールのトリム等の作業を行っていたことから、のり養殖施設に接近していることに気付かず、推進器にのり養殖施設のロープが絡み、同ロープを損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、荒天下の東播磨港南西方沖を機帆走により西進中、船長が、1人で操船及びセールのトリム等の作業を行っていたため、のり養殖施設に接近していることに気付かず、推進器にのり養殖施設のロープが絡んだことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 事前に気象、海象の情報を入手し、荒天が予想される場合は、出港を差し控えること。